



戦没英霊過去帳慰霊法要

徳島県仏教会  
県仏だより



発行日 令和2年3月20日  
発行者 岡部 義典  
発行所  
一般社団法人 徳島県仏教会  
〒770-0908  
徳島市眉山町大滝山7  
常慶院（事務局）  
TEL088-653-1030  
FAX088-624-2220

第14号

令和元年九月二十六日、眉山山頂パゴダにおきまして、徳島県仏教会主催にて戦没英霊過去帳慰霊法要が執り行われ、戦没者遺族約四十名が参列いたしました。開式にあたり、来賓の徳島県遺族会より、慰霊の言葉を頂き、徳島県仏教会所属寺院僧侶による読経の中、参列者が焼香を行いました。法要後、徳島県仏教会奥村顕調副理事長による法話が行われました。



仏壇・仏具・墓石・神殿・神具・石材工事・ギフト

株式会社 **ぶつだんのもり**



0120-48-1115 本店

[www.b-mori.co.jp](http://www.b-mori.co.jp)

上記ホームページもしくは、右記ワードで 楽天市場 ぶつだんのもりで 検索

もくりんのブログ <http://b-mori.blogspot.jp/>

各宗派の紹介

臨済宗妙心寺派（禅宗）

お釈迦さまの正法を相承されたインドの初祖達磨大師、中国の宗祖臨済禅師を経て、妙心寺開山無相大師へと受け嗣がれてきた一流の禅を宗旨・教義としています。

妙心寺派の大本山である正法山妙心寺は、建武四年（一二三七年）九十五代天皇、花園法皇の勅願によって創建され、京都市右京区花園妙心寺町にあります。開山無相大

師の法流が四派に分かれて全国三四

〇〇カ寺に広がり、お釈迦さまを大

恩教主と仰いで尊崇し、因縁により

釈迦如来・観世音菩薩等をおまつり

しています。

宗門は、僧俗ともに禅の安心を求

める同心同行で、開山無相大師の最

期の教え「請う、其の本を務めよ」

の御遺誠と、開基花園法皇の「報恩

謝徳」の聖旨を体して仏法興隆の実

践につとめています。

自身仏であることを固く信じて坐

妙心寺仏殿



禅に励み、本当の自分にめざめ、どんな苦難にもくじけず常に脚下

を照顧しながらくらしを正し、生かされている自分を感謝しつつ世の

ため人のためにつくすことを信条としています。檀信徒は、花園会

員として力を合わせ、社会を「心の花園」にと念じて和やかな人生

を目指しています。

生活信条

一日一度は静かに坐って 身と呼吸と心を調えましょう

人間の尊さにめざめ 自分の生活も他人の生活も大切にしましょう

生かされている自分を感謝し 報恩の行を積みましょう

信心のじよば

わが身をこのまま空なりと観じて、静かに坐りましょう

衆生は本来仏なりと信じて、拝んでゆきましょう

社会を心の花園と念じて、和やかに生きましょう

（参考文献「臨済宗妙心寺派 勤行聖典、妙心寺ホームページ」）

四国の妙心寺派

四国内は、大きく東と西、二つの教区に別れています。東教区は愛

媛県の松山市以东と香川・徳島の二県とで七十四ヶ寺あり、西教区

は松山市から西と高知県とで百五十二ヶ寺あります。

徳島県内は二十二ヶ寺の少ない寺院数ですが、花園会員とともに

日夜、生活信条・信心のじよばの実践につとめています。

（鴨島町 玉林寺 小川清山）

各仏教会だより

○徳島市仏教会



令和元年十月三十一日(木)午後四時よりパゴダにおいて、徳島市仏教会が上田善弓会長ほか十名により英霊慰霊法要を行いました。  
まず、導師が洒水の後、慰霊文を読み上げ、その後十名の職衆と共に観音経・般若心経を唱えて供養を行いました。

○小松島市仏教会



小松島市仏教会では、令和元年十月十四日(土)午後二時よりパゴダにおいて、福島聴空会長ほか八名により真言声明とホーミーによるライブ「日本仏教の声」を開催しました。  
まず、真言声明は、常楽会次第の声明をお唱えしました。後半は「チョークー&S2」による仏教をテーマとした喉歌等が行われました。

○三好仏教会



去る、令和元年十月十六日、三好仏教会は、秋恒例の托鉢修行(特別廻向)を行いました。三好郡市内を七地区に分けて順番に当番地区を決めています。  
特別廻向とは、事前にご要望賜った御宅を訪問して、設えた仏壇前にて先祖供養及び、家内安全並びに、家運長久を御祈念させていただきます。

僧侶の読経に包まれて、改めて先祖に対し感謝の気持ち芽生え、動画を収録して親族に配られた方もおいでになられたようです。  
尚、お収め頂いた浄財は、三好市社会福祉協議会を通じて、三好郡市内の十八福祉施設に慰問金としてお届けしたり、あらゆる奉仕活動に充たさせて頂きました。

○美馬東部仏教会



令和元年十一月十九日(火)午後二時よりパゴダにおいて、美馬東部仏教会が奥村顕調会長ほか一名により英霊慰霊法要を行いました。  
まず、導師が慰霊文を読み上げ、観音経を唱えて供養を行いました。

平和記念塔パゴダの仏舍利



一般社団法人徳島県仏教会が所有しております眉山山頂平和記念塔パゴダに奉安する仏舍利についてご紹介いたします。以下、昭和三十三年に仏舍利を奉安し落慶にいたるまでの説明文（パゴダ内に掲示）を掲載いたします。なお、国名表記など、現在と異なる表記も原文のまま掲載いたします。

当平和記念塔に御奉安の仏舍利について  
積尊の遺骨を仏舍利といひます。式千四百余年の昔、積尊は参拾歳で悟りを開かれました。仏陀になられた積尊は八拾歳で印度のクシナガラの花の下、静かに涅槃に入られました。お弟子達は積尊の御遺骸を茶毘に付して、舍利（仏骨）、遺髪、遺齒などを八等分して八つの塔に納めました。爾来式百年後、有名な印度の阿育王（二七二―二一三BC）は

仏教を世界にひろめるために既存の八つの塔を壊して仏舍利を集め、新しく八万四千の塔を印度の各地に建て、仏舍利を安置しお祀りをしました。

北部ビルマのパガン王朝、南部ビルマのタトン王朝全盛期に仏教は全ビルマに布教されて、今日のようにビルマが仏教国となったのですが、ビルマ各地に建てられているパゴダにお祀りしてある仏舍利は阿育王から贈られ、今日まで継承されたものであります。

三木武夫氏らの御尽力で、今春（昭和三十三年）ビルマ国ウ・ヌー首相から当平和記念塔に贈られた仏舍利は、その一部であつて、左の三つの場所に継承されてきたものであります。

一 在来からビルマ国首相官邸持仏堂に奉安されてあつたもの

一 タトンの町のパゴダに、サクラマハテラという高僧が伝承したものを、ウ・ヌー首相に贈られたもの。

一 北部ビルマの古代のパゴダの遺蹟から発掘され、貴重な香油に鎮められ継承されてきたものなどの、貴重なその一部であります。

右のような由緒のある仏舍利は、本年（昭和三十三年）五月二日、ラングーン的首相官邸持仏堂において、最高儀礼をもってウ・ヌー首相の手づから徳島県ビルマ会代表、徳島県仏教会代表の手に親しく渡され、五月十四日空路帰還、五月十八日の平和記念塔パゴダ開塔落慶に当たり、本会名誉総裁池田隆政氏並びに天皇陛下第三皇女たる同厚子夫人ご夫妻の参列の下に、僧侶、遺族、来賓ら三千余の礼拝供養の後、当平和記念塔三階の聖堂に奉安せられたものであります。 合掌

昭和三十三年五月十八日 徳島県ビルマ会

事務局だより

県仏教会の慶弔規定がありますので、左記に該当することがございましたら、事務局までご連絡ください。なお、申請用紙は県仏ホームページよりダウンロード可能です。http://tokukenbutsu.com

慶事 一 御住職の結婚（住職に限る） 二 本堂の新築及び改築  
弔事 一 御住職の遷化（住職に限る）



徳島県仏教会  
ホームページ

http://  
tokukenbutsu.com

仏壇・仏具・寺院荘厳具・神殿・神具・巡拝用品



瀬戸内佛具店

〒770-0905 徳島市東大工町2-19 TEL 088-622-1740